



## キャリア教育プログラムを実施しました

11月、12月の総合的な学習の時間では、キャリア教育プログラムとして、身の回りや社会の課題を見つけ、チームで解決策を考える活動をしました。一部の授業では、企業の方に講義をいただいたり、生徒のアイデアに対して、大学生や社会人のアドバイザーより助言をいただいたりしました。

### 11月16日 5限 チームで解決したい「課題」を決めよう

前回考えた「いい困りごと」をもとに8つの分野を設定し、その中で興味のあるものを選んでチームを組みました。チームで初めて顔合わせをしたこの日は少しぎこちない雰囲気もありましたが、各チーム無事「解決したい課題」を設定できました。

### 11月21日 5限 どんな人の「課題」を解決したいか考えよう

この日は、東京よりお越しいただいた、株式会社ガイアックスの方に講義をしていただきました！経済産業省「キャリア教育アワード」で最優秀賞をとった会社になります。

この時間では、課題解決をするためには、「誰の」「どんな課題」かを明らかにする必要があると学び、「ペルソナ(※1)」を設定できました。

～ペルソナとは？～

商品・サービスを使う人の典型的なイメージ像。共通の人を想像しながらアイデアを考えないと、解決策がイマイチになってしまうと学びました！

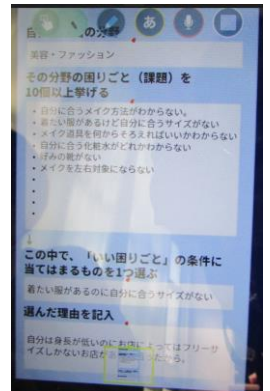
### 11月21日 6限 解決のアイデアの出し方を学ぼう①

アイデアの出し方について、「掛け算」を使って考える方法を教えていただきました。「AI×○○」「オンライン×○○」のようにして解決策をたくさん出し、より良い解決策を考え出すことができました。

### <話し合いの様子>



### <課題の書き出し>



### <掛け算でアイデアをだす>

・オンライン × ○○	・レンタル × ○○
・AI × ○○	・サブスク × ○○
・VR × ○○	・24時間 × ○○
・スマホで × ○○	・一人 × ○○
・自動 × ○○	・アナログ × ○○
・パーソナル × ○○	・手作り × ○○
・どこでも × ○○	・自作 × ○○
・いつでも × ○○	・少しだけ × ○○
・誰でも × ○○	・たっぶり × ○○
・ランダム × ○○	・無料 × ○○
・マッチング × ○○	・{あるサービス} × ○○

### 12月1日 5限 課題を明確にしよう、6限 解決のアイデアの出し方を学ぼう②

ここまでの学習をおさらいしながら、各チームで自分たちが「誰の」「どんな課題」を解決したいかをもう一度話し合って決めました。

中には思い切って最初に決めたことから変更するチームもあり、本当に心から解決したいと思える課題か？と問いかけ合いながら、解決したい課題を改めて決めることができました。

また、前回とは異なる、解決のアイデアの出し方を学び、先程決めた課題をどの方法で解決していけるとよいか、さらに考えを深めることができました。

### <課題と解決策のまとめ>

担当する分野	服装・サービス
チームメンバー	
私たちは、	
誰の	中学生
どんな困りごと	一人でカラオケしたいけど近くにお店がない。
を解決するためにこのようなアイデアを考えました。	
	家に機材をレンタルする。

## 12月8日 5限 どうやってお金を稼ぐか考えてみよう

この日もガイアックスの方に授業をしていただきました。実際にある、身近な会社を例にしながら、お金の稼ぎ方(マネタイズ)の方法には様々な種類があることを学びました。

自分たちが考えたアイディアは、どのようなお金の稼ぎ方ができそうかを考えることができました。

## 12月8日 6限 ピッチの仕方を知ろう

いよいよ大詰め!最後の発表の方式として「ピッチ(※2)」について学びました。「PETOKOTO」という会社のピッチ動画を見て、商品やサービスを魅力的に伝えるために必要なことを理解することができました。

～ピッチとは?～

不特定多数の人たちに対して、ビジネスのアイデアを短くまとめてプレゼンをすること。資金調達や、仲間集め、商品・サービスのPRが目的。

↓PETOKOTO  
のピッチ動画



## 12月15日 5,6限 大学生・社会人のアドバイザーに相談しよう!

起業を目指す大学生や、会社内の新規事業を考える仕事をしている社会人の方々にご来校いただき、アドバイスをいただきました。

考えがまとまらなかったり、いいアイデアが浮かばなくて困ったりしているチームも多くありましたが、「答え」ではなく、「ヒント」をたくさんもらい、自分たちの力でよりよいアイデアに改良していくことができました。

### <お金の稼ぎ方の例>



### <授業の様子>



～キャリアナビからのメッセージ～

### 今回の取り組みで、なんのために身の回りや社会の課題解決に挑戦しているか?

オリエンテーションで私が話したことを覚えていますか。

「これ、困るなあ」「こんな人たちにはきっと不便だ」、そんな困りごとに気づき、解決策を考える。仕事は、誰かの「困った」からスタートすることも多いです。

困りごとを解決する方法に、決まった正解はありません。情報を集め、悩み考え、納得のいく答えを自分たちで導き出します。ただ、その過程では、折り合いがつかないこと、難しくて悩み果てることもあります。

この過程を「面倒だ、大変」と捉えるか、「この機会を利用して自分の力を伸ばそう」と思えるか、皆さんの心持ち次第で、見えること、身につくこと、大きく変わります。

皆さんは、この授業で何を学び、どんな力を身に付けますか?外部講師の大人と話す機会も、チームで話し合う時間もまだあります。冬休みの時間でぜひ改めて考えてみてくださいね。

